

第 12 回 新潟気分障害研究会

医療法人水明会佐潟荘 医局

令和元年 7 月 23 日(火)、第 12 回 新潟気分障害研究会 (場所：新潟グランドホテル、共催：新潟気分障害研究会、塩野義製薬株式会社) に参加しました。当院の北村医師が、一般演題として『持続性抑うつ障害に対する抗うつ療法 — 自験例と最近のメタ解析からのエビデンス』を発表しました。

特別公演は、杏林大学医学部精神神経科学教室 教授 渡邊衡一郎先生による『うつ病にうける Presenteeism と Absenteeism について考える』でした。最近、特に注目される Presenteeism 概念の説明に始まり、うつ病における Presenteeism の実態から対応に至るまで、ご自身の研究グループによる調査を含めた最新のデータを示しながら、分かりやすく講演くださいました。